

# 議会だより

☆たかもり

令和8年1月30日発行

No.166



未来に向けたインフラ整備  
－ 鬼の手配水池 －

02 令和8年度 予算提言

04 12月定例会

08 一般質問

15 議会のうごき

19 モニターの声・モニター募集

20 みんなの声 下市田 <sup>ふくざわ</sup> 福澤さゆり さん  
<sup>なかだいら まこと</sup> 出原 仲平 誠 さん





# 令和8年度 予算提言 議会から町へ

令和7年8月、総務民生委員会・産業建設委員会では、来年度予算に向けた議会提言の検討をはじめました。各議員から町が取り組める事業の可能性など、さまざまな角度からとらえた案が出され、その中からテーマを絞り、さらに調査・検討を重ねました。令和7年12月16日に、最終決定した提言書を壬生町長へ提出しました。

このページでは提言と、町民の皆さんからいただいたコメントを一緒に掲載します。

提言の全文は  
こちらから



## 産業建設委員会

### 農地の雑草対策について を提言

農業従事者の高齢化や後継者不足により、荒廃地や耕作放棄地が増加し雑草が繁茂している園地が見受けられます。地域内での対応が困難な状況です。

このような状態は、地域の環境や景観の悪化。また、道路沿線では安全な交通にも影響を及ぼしています。

このため、行政・議会・農業委員会・区長会などの関係者で対策会議を設け、具体的な対応策を検討する必要があります。

地域が安全で住みよい環境を維持するため、下記の項目のとおり提言します。

関係団体等で対策会議を設け、課題解決に向けた具体策を構築すること

### 観光協会の再整備と拡充について を提言

信州たかもり温泉もリニューアルに向けた事業が本格的に動き始めました。

令和5年度にはリニア新時代を見据え、新たな観光協会の事務局が設けられました。しかし、現在は産業課職員が兼務で観光協会が運営されているという状況です。

「賑わいの拠点整備」「観光振興による町の活性化」をまちづくりの中核に据えた町の将来設計を描く上では、観光協会の果たす役割は重要と考えます。以上のことから町の観光振興を前進させるため、下記のとおり提言します。

1. 令和5年3月に示された観光協会の取り組み方針を再確認し、観光振興を町内及び広域連携で進めていくこと
2. 観光協会に専任の職員を配置した事務局体制の整備を図ること

## まちの声



- ・歩道に伸びた草は事故をまねきやすい。
- ・雑草が生いしげると野生動物のすみ家になって熊が出てきたら困る。

- ・観光にチカラが入ると嬉しいな。
- ・県内外の人が沢山来てくれるようなステキなスポットが増えるといいな。

(和地 記)



## 総務民生委員会

### 高森町民グラウンドの安全管理および維持整備体制の改善について を提言

高森町民グラウンドは、町民の健康増進や地域スポーツ活動の拠点として重要な役割を担っています。

しかし近年、草刈りの不足や排水溝の土砂詰まりなど維持管理の問題、グラウンド内への自動車乗り入れなど、利用マナーをめぐる問題が顕在化しています。

さらに、施設の老朽化が進み安全性や快適性に関する不満の声が寄せられています。こうした状況を踏まえ、利用者と近隣住民の安全確保と公共施設としての持続的な利活用を図るため、下記のとおり提言します。

高森町民グラウンドの安全管理と維持整備体制を改善し、より利用しやすい施設に改良を行うこと

### 高森町消防団の処遇改善と団員確保について を提言

消防団は地域防災の要であり、その活動は町民の安心・安全を支える極めて重要な役割を担っています。しかし、高森町消防団では団員確保が年々困難な状況となっています。

消防団活動は、多くの住民にその必要性を認識いただき適切に評価されることが重要です。消防団の行事や訓練などは、団員はもちろんその家族にも大きな負担となっており、それが団員確保を難しくしている一因とも考えられます。

以上の状況を踏まえ、下記のとおり提言します。

消防団員の確保に向け、団員の処遇等を改善すること

## まちの声



- ・最近町民グラウンドの老朽化や草が伸びているのが気になる。
- ・野球をする時、グラウンドにタイヤのあとができていてケガをしそう。

- ・消防団の活動に参加する本人も大変ですが、団員の家族への負担も考えてもらいたい。
- ・消防活動に報酬は出るけど仕事もあって休みを削っているのに今の待遇では不満がある。

(久保田 記)



## 指定管理

### 高森町老人福祉センターの指定管理者の指定について

### 高森町デイサービスセンターの指定管理者の指定について

【指定団体名】 社会福祉法人高森町社会福祉協議会（高森町山吹）  
会長 湯沢健彦 氏

【指 定 期 間】 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

討

論



反対

同じやすらぎ荘に入っている老人福祉センターと次の議案のデイサービスセンターを一本化できるのに、なぜ漠然と従来通り別々に指定し、業務の効率化も指定管理にする目的も阻害するのか。



やすらぎ荘



賛成

指定管理者の選定に関する情報が不足している指摘など、反対討論の内容は傾聴に値する。さらに、非公募を可能にする条例整備も必要。しかし、これまでの事業者を引き続き指定管理を任せることは賛成。

### 信州たかもり温泉の指定管理者の指定について

【指定団体名】 中央アルプスリゾート株式会社（駒ヶ根市赤穂）  
代表取締役 白澤裕次 氏

【指 定 期 間】 令和8年4月1日から令和18年3月31日まで



反対

募集要項や管理業務仕様書に温泉や源泉について一切触れられていない。また、募集要項に飲食の提供に係る記述がなく、指定管理者が行う業務の中に「飲食・サービスの提供に係る業務」とあるが具体的内容がない。このような内容で管理期間10年は認められない。

今回の指定管理者はコロナ禍以降経営が行き詰る中、維持されてきた。観光や接客などについても共同提案をもらっている。指定管理料についても利益追求をする事業であるため問題ない。経営の安定は1～2年で結果が出るものではなく、10年は妥当だ。



賛成

討

論



反対

指定管理者公募に関わる資料に問題点がある。①指定期間10年間は長すぎ②指定管理料の説明がちぐはぐ③収益が全て指定管理者に渡るのではなく、分配の基準を設け町にも収益が入る協定を結ぶべき。

今までの実績と、選定委員会でも十分な協議の上でここまで決まったので賛成である。



賛成



反対

15億円の建設費も各種備品も10万円を超える修繕費も火災保険料も全部町が負担するのに、指定管理者は年間500万円から1350万円ほど得る利益を、町に1円も還元することなく10年間営業できる契約はおかしい。

国から下りたお金をこの町でどう還元できるかを考えることが議会の責任。お金、経済の流れは地域で廻す。今回の指定管理者は南信州の企業である。日本各地に外資が入ってきていることを考えれば、地域を守るために地元企業であることは賛成する。



賛成

(木下 香 記)

## 12月 定例会 ピックアップ

12月定例会では、条例案件10件・工事請負案件2件・工事委託協定案件1件・指定管理者の指定案件4件・補正予算案件6件が上程され、いずれも可決しました。  
その中から、身近な事業を取り上げて報告します。

議決結果は  
こちら



### 条例制定

#### 高森町犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害にあわれた方、その家族・ご遺族が孤立せず、安心して生活を続けられるように支援することを目的とするものです。

#### 高森町特定用途制限地域における建築物の制限に関する条例の制定について

地域の特性に合わせて、青少年健全育成への影響が心配される施設や、騒音・振動・悪臭・危険性などが生じる恐れがある特定の建築物を制限することで、良好な景観を維持・形成することを定めるものです。

### 条例廃止

#### 高森町町民研修センター設置条例を廃止する条例について

町民研修センター解体に伴い設置条例を廃止にします。

### 請負契約

#### 令和6年度 吉田新川配水池築造工事(土木) 変更請負契約の締結について 410万円増

施工実施にあたり、配水池基礎工事と排水処理工事において追加工事および追加資材が必要となったことによる増額です。

### 条例改正

#### 高森町火入れに関する条例の一部を改正する条例について

気象庁及び消防庁が使用する基準に合わせて文言を訂正するため、条例の一部を改正するものです。

#### 高森町水道条例の一部を改正する条例について

近年の社会経済情勢の変動や今後の投資計画を踏まえ、水道事業の健全経営を維持するために水道料金の改定を行うものです。

令和7年度  
一般会計

補正予算

5655万円増額  
総額 78億9168万円

補正の歳入の主な増額

県支出金1007万円／寄付金1088万円／繰入金4000万円

減額

国庫支出金262万円／町債210万円

歳出の主なもの

民生費4358万円／農林水産費1772万円／土木費1249万円／教育費3080万円

### 土木費

#### 町道Ⅰ-1～203号線拡幅改良事業 2288万円

土支持力試験に基づく路床入替工事や湧水処理工事などの増工によるものです。

### 教育費

#### 学校給食食材管理事業 355万円

食材の価格高騰によるものです。

(和地 記)



## 懲罰特別委員会の設置

12月1日に行われた全員協議会にて、和地議員が木村議員に対し侮辱発言をしたとして処分を求める要望書が提出され、懲罰特別委員会を設置し、審議しました。

### 討 論



公私混同と感情的対立に加え、本来の役割から逸脱したことを重く受け止め、当事者2人に内省と改善を求める。批判や懲罰では町も人も育たない。日本の伝統的な「心の学び」や「徳・仁・礼・智・信」に立ち返り、内面の省察による成長と豊かな議会文化の構築が必要である。



和地議員はこれまでの誹謗中傷や委員会盗撮をSNS投稿した行為を正当化し、一度も公の所で反省・謝罪をしていない。会議中の侮辱発言はこうした経過の中で発せられた。本人に陳謝くらいはさせるべきだ。

誹謗中傷された議員の気持ちはしっかり受け止める。が、今回は発言に限っての懲罰であることから「戒告」が相当であると考えている。今後、高森町議会として一人一人の資質向上と、信頼回復に向けての取り組みが必要である。



### 結果 「戒告」

懲罰特別委員会は12月9日から15日まで5日間開催し、慎重に審議を行った結果、戒告が相当との決定が下されました。

### 「戒告文」(一部抜粋)

議会における発言及び行動について節度と品位を保ち、自身が町民の代表であることを自覚するとともに、自らの行動が議会の信頼性に及ぼす影響を深く理解し、同様の行為を再び行わないよう強く自制を求める。

議員名	久保田	和地	佐々木	木下(香)	木村	本島	齋藤	河合	原	福沢	岩口	市川	三浦	木下(啓)	結 果
賛 否	○	—	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	—	可 決

※議長は賛否同数の場合のみ議長採決となり、賛否を表明します  
※対象者は採決に加わりません

(木下 香 記)

## 第3回 11月臨時会 11月4日

### 信州たかもり温泉設置及び管理条例の制定について

現在工事中の湯ヶ洞、御大の館は来年度2つの施設を一体化して「信州たかもり温泉」とする条例が上程され可決しました。

### 討 論



本条例は指定管理者が指定されると町長の権限が外れてしまう部分がある。条例内での食い違いもある。15条を訂正することで食い違いは解消される。貸室の使用(利用)料金、入湯税などについても定め、修正し提案しなおすべきである。



本施設は飲食施設があり、宿泊者に食事を提供する。食事の提供について条例に載せる必要がある。また、施設の占有使用を許可する条件も決まっていない。施設の使用イメージを膨らませてから提案しなおすべきである。

9月議会で第1期工事を承認した。今回は「信州たかもり温泉」の条例が提案された。産業課は「案を変更することはない」と説明した。したがって反対には至らない。今後、反対討論で指摘される不具合が生じたら速やかに修正することを要望する。



議員名	久保田	和地	佐々木	木下(香)	木村	本島	齋藤	河合	原	福沢	岩口	市川	三浦	木下(啓)	結 果
賛 否	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	—	可 決

※議長は賛否同数の場合のみ議長採決となり、賛否を表明します

(木村 記)

## 指定管理

### 高森町山吹ほたるパークの指定管理者の指定について

【指定団体名】株式会社フクシ・エンタープライズ(東京都江東区)  
代表取締役 福士朝尋 氏

【指 定 期 間】令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

### 討 論



指定管理の団体名と指定期間しかない議案で他に資料もなく、何をもってこれで良いとするのか。また3300万円を超える指定管理料を言われるままに支払うのではなく、互いのリスク分散のため清算方式にすべきだ。



山吹ほたるパーク

反対討論の内容は傾聴に値する。しかし、指定された事業者がほたるパークを「子どもから高齢者、障がい者が利用しやすい運営を目指す」という計画に期待する。



議 案	議員名	久保田	和地	佐々木	木下(香)	木村	本島	齋藤	河合	原	福沢	岩口	市川	三浦	木下(啓)	結 果
老人福祉センター デイサービスセンター		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	可 決
信州たかもり温泉		○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	—	可 決
山吹ほたるパーク		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	可 決

※議長は賛否同数の場合のみ議長採決となり、賛否を表明します

## 請 願

「再審法改正の早期実現を求める意見書」の採択を求める請願書

## 採 択

- えん罪被害者の救済の観点から実効性のある検察官による証拠開示規定を設けること
- 1の証拠開示制度を実効的に担保する捜査機関における適切な証拠の保管、保存制度に関する規定を設けること
- 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを制限する規定を設けること

## 陳 情

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

## 採 択

2026年度の診療報酬改定と合わせ、介護・障害福祉サービス等の報酬改定を1年前倒しで実施し、いずれも10%以上の引き上げを行うこと

(木下 香 記)

## 請願とは・・・

町民が町や県、国の仕事に対して意見や要望を伝えることのできる制度です。議員を通して議会に提出し、委員会で審議され、本会議で「採択」「不採択」が決定されます。  
(個人・団体・法人問わず提出でき、未成年でもOKです)

## 陳情とは・・・

内容は請願と同じですが、請願が憲法で保障された権利であるのに対し、陳情は法律的な権利はないです。  
したがって提出方式などは定められておらず、また議員を通さず議会に提出することができますが、委員会で審査されない場合もあります。  
提出できる対象者は請願と同じです。



## 令和7年度高森町一般会計補正予算 2億604万円増額

物価高騰対策を重点に置いた国の補正予算が可決されました。こうした国の対応を受け、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、物価高対応子育て応援手当支給事業補助金、長野県補助金などの財源を活用し、物価高騰対策のための補正予算が上程され可決しました。

### 商品券配布

町民1人1万円分の商品券  
2月上旬より順次配布  
使用期間：3/1～8/31

町民の皆さんに  
これらが助成  
されます

### 住民税非課税世帯エアコン設置支援

補助基準 上限は73000円  
生活保護世帯 全額（県）  
住民税非課税世帯対象  
（県1/3 町1/3…合計2/3を補助）

### 子育て応援手当支給

児童手当受給者に対し、18歳以下の児童一人当たり20000円

### 水道事業会計拠出金

水道の基本料金の減免を令和8年6月から9月予定で実施検討中

（木村 記）

## 一般質問

# 議員発 町政へ

一般質問は年4回開かれる「定例会」で、議員が執行機関（町長・教育長等）に町政運営全般にわたり、事務の状況や今後の方向性に対する疑問点を質問し説明を求めることで町政の姿勢を明確にするなどの目的があります。質問権は全議員に認められています。

12月定例会では6名の議員が行いました。

9

## 本島未来

第3期支援計画の進捗状況は

12

## 和地理佐子

神話に力を持たせたPRは  
空き家調査情報への対策は

10

## 福沢嘉言

将来負担比率がだいぶ高いが  
非公表企業から寄付を断っては

13

## 河合隆俊

信州たかもり温泉と食の魅力

11

## 木下香乃

「ぱれっと」と不登校支援は

14

## 木村典雄

全国学力テスト不参加の選択は  
授業の準備時間の確保を



一般質問の原稿は質問した議員自身が内容を要約してお伝えしています。議事録は準備が整いしだい町ホームページに掲載します。

# 第3期支援計画の進捗状況は

## 教育委員会事務局長

「子ども基本法」を法的根拠にした

高森町が策定してきた子ども・子育て支援事業計画が、真に子どもたちの幸せにつながっているのか、計画と現場の間ギャップはないのか、といった視点から質問していきます。

### 質問

第1期と比較した達成度・課題の位置づけと第2期の成果と評価、特に改善点と優先課題は何か

## 教育委員会事務局長

第1期を評価した第2

### 質問

第3期の進捗状況は

## 教育委員会事務局長

「子ども基本法」を法的根拠に、施策推進の基本的な視点「子どもまんなか社会」を掲げ「身体的・精神的・社会的に幸せな状態（ウェルビーイング）」を目指す。

### 質問

計画策定から10年子どもたちはどのように変化しそして今後、どう変化していくのか。

## 教育委員会事務局長

直接変化を与えるというより、これまでの環境整備を進めていくことで、保護者や家庭に安心感を与え、それが子どもたちに良い影響を与えて

いると見ている。

子ども基本法の中に最終的に個人や家庭のウェルビーイングに追求したものでなければならぬと考える。自立した主体性を持ち・自分で決めることができる・行動できる子どもへと変化していくことが必要。

まずは家庭がしっかりと子どもを見ていること・地域で支え合うこと・保護者が働く職場も含め子どもを見守るすべての関係者がつながっていくことが最も重要。

### 質問

多層的支援体制の現状と課題の解決に向けた今後の取り組みは。

## 教育委員会事務局長

重層的支援体制の表現を多く用いる。切れ目なく子どもと家庭を支援する体制は、核

家族化の進行や子育て不安の増大が進む現代社会において、行政の最重要課題の一つと認識している。支援を必要とする家庭への対応は、組織的対応をさらに強化し、特に障がいのある子どもへの支援は第1期、第2期を通じて評価が低く、早急な改善が必要な分野と課題認識している。

の支援を一体的かつ効率的に行う中心を「子ども家庭センター」が担う。

◀ 出典 子ども家庭庁ホームページ

子ども施策は、6つの基本理念をもとに行われます。

- 1 すべての子どもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと。
- 2 すべての子どもは、大事に育てられ、生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること。
- 3 年齢や発達程度により、自分に直接関係することに意見を言えたり、社会のさまざまな活動に参加できること。

- 4 すべての子どもは年齢や発達程度に応じて、意見が尊重され、子どもの今とこれからのため、最もよいことが優先して考えられること。
- 5 子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが十分に行われ、家庭で育つことが難しい子どもも、家庭と同様の環境が確保されること。
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること。



子ども・子育て支援事業計画の根拠





のぶ 嘉言 ざわ 福 沢

▽質問

当町の実質公債費比率は全国平均より高く、将来負担比率は下伊那郡町村で当町だけ27%で他は0だ。どう思うか。

町長

一概に他と比較してどうかというのでもどうか。町の財政規模として、長期的にとらえながら実施していくことが必要だ。

▽質問

毎年必ず必要となる経費が増えている。中身を箱ものにかかる費用から、住民の安心・安全・福祉など町民の生活に潤いをもたらす事業に軸足を移すべきではないか。また、ラスパイレス指

町長

一概に他と比較するのはどうか

## 将来負担比率がだいぶ高いが

数は98%で下伊那郡で一番高い給料の町と言える。どう思うか。

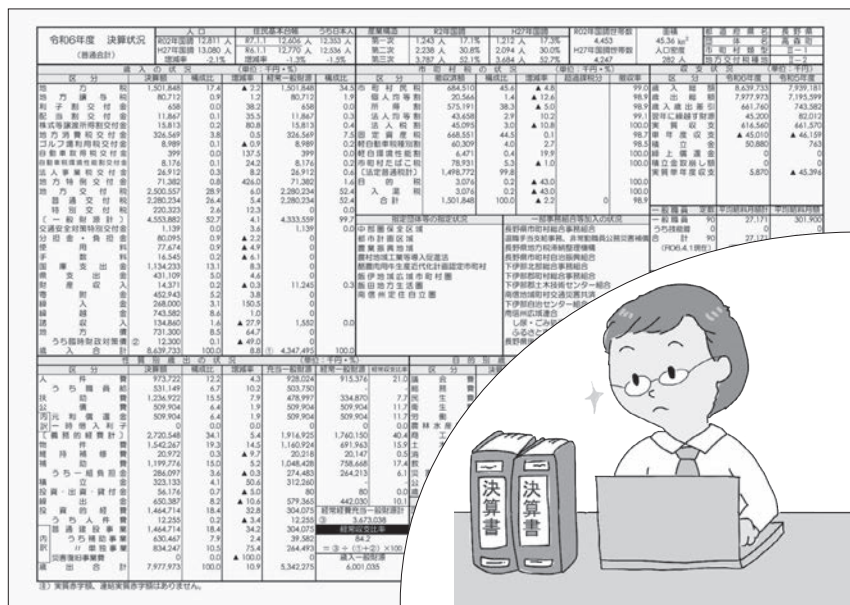
総務課長

町の将来像あるいは町長のマニフェストに基づき実施し、行政運営に支障のないようにしたい。ラスパイレス指数は適

正な範囲内と考えている。

▽質問

基金は経済情勢の変化や大災害などの不測の事態に備えるもので、残高ルールを決めてどの程度確保しているかが大事な



数値はみんなの税金・町の生活費

財政調整基金は標準財政規模の2割を目標としているが、減債基金は通常ベースの償還で不足はないので目標値はない。

総務課長

全体を通してだが、老朽化した不要施設の処分など使わなくなった資産を保有し続けないことが大切だ。

町長

## 非公表企業から寄付を断つては

町長 非公表企業からでももうう

▽質問

企業版ふるさと納税で、企業名も寄付額も非公表のものが2年続いて2件あるが、非公表にする理由を聞いたか。

産業課長

いろいろ推測はしているが特に聞いていない。

▽質問

企業名も寄付額も非公表では、第三者が寄付納入額も確認できない。不正の温床を作っているようなものだ。非公表企業からはキッパリ寄付を断

るようにしたらどうか。

町長

非公表であってもいただける寄付はいただく。

▽質問

ふるさと納税は経済情勢や個人の気まぐれで変動が大きい。毎年必要な事業に使うと危険が伴う。

総務課長

寄付は一旦基金に積んで、その後特定財源として事業に充当している。臨時的な財源として臨時的事業に使っている。

教育長

町内に子どもたちの居場所がたくさんあるということが重要。何より学校が子どもにとって居心地の良い場所になるということが肝心。そのため

支える指導に取り組む。

町長

子どもが安心して過ぐすために、一番は家庭が安定していること。町ではこども家庭センターを中心に、家庭支援に力を入れていく。

教育委員会事務局長

関係機関が情報共有していく

## 「ぱれっと」と不登校支援は

当町の不登校児童数は三校合わせ令和6年度末60名でした。そのような子どもたちの第二の居場所として中間教室「ぱれっと」があります。

▽質問

「ぱれっと」の仮設移転場所は中央公民館2階で確定という認識でよい

教育委員会事務局長

地域交流センター（仮称）改修工事に伴い、公民館2階の学習室を活用



の 香乃 こう した き の 木 下

中央公民館は仮設移転場所か。

教育委員会事務局長

令和7年2月のアンケート結果から、移転場所を公民館2階の学習室とし、保護者に共有した。

▽質問

教育相談員を早急に増員する必要があると思うがいかがか。

教育委員会事務局長

現場から増員というよりは女性のスタッフが欲しいという意見は出ている。今後も町全体の状況を見ながら「ぱれっと」のみならず、教育委員会事務局の人員の充実について常に検討していく。

▽質問

「ぱれっと」に通う子どもたちへの給食提供は考えているか。

教育委員会事務局長

今の時点では給食センターから「ぱれっと」へ配食するという計画はなく、各家庭からの弁当持

参。給食センターで給食を食べる「ぱれっと給食会」を月1回、自分たちで昼食を作りみんなで食事をする「フー弁当イ」を月2回実施している。

▽質問

教育委員会・学校・こども家庭センター「ぱれっと」の関係機関はどのように連携して不登校支援を行っているか。

教育委員会事務局長

相談者が話しやすい窓口からの情報を「ぱれっと」に集めている。重要なのは、各関係者が情報を共有していること。相談者や相談内容によつては柔軟に対応する必要があると考えている。

▽質問

町と教育委員会は、不登校支援について行政が担うべき一番大切な役割は何だと捉えているか。



町の子どもたちの拠り所「ぱれっと」





佐子 理和

い。歴史的な背景をきちんと知って紐付けていくことなどは積極的に取り組んでまいりたい。

▽質問

解体予定の茶室小屋だが景観や内観を楽しめる

クリエティブな空間としてアーティストや若者を募って前衛的な建物へ建て直してはどうか。

町長

朽ちていくものに対する修繕費などお金がかかるものである。維持管理していく人件費や収益性の年間計画次第では活用を検討しないでもない。

▽質問

柿丸くんに彼女を作ったはどうか。

町長

空き家は当町の魅力の一つ。新しい家には出せない魅力があり古い家の魅力を生かした改修を加えることで田舎の景観を活かした価値ある住宅となる。

## 空き家調査情報への対策は

総務課長

地域で考えていただくことも期待

▽質問

地区計画で空き家情報を提出したが町は集めた情報をもとに具体的などのような対策をしていくのか。

総務課長

今年の調査では204件の報告をいただいた。倒壊の可能性のあるものは建築士に外観調査を依頼し、所有者に対応を促す。活用が見込まれる空き家の所有者へは、空き家バンクへの登録や希望者へのつながりなど積極的に行なっている。今ある住宅が空き家にならないよう地域で考えていただくことも期待している。

## 神話に力を持たせたPRは

町長 積極的に取り組んでまいりたい

どの季節も美味しい物がなり山に温泉があつて水も空気もきれいで神様を感じずにはいられない。当町の宝物の一つ不動滝の知られていない魅力に隠れた神話の存在がある。古事記の中でも最高の山の神様大山祇尊が祀られており、一部の若者に話題の磐長姫、木花咲耶姫が感じられることは意外と知られていない。

▽質問

神話に力を持たせたPRは町全体のブランド化に有力と思われるがどうか。

町長

歴史を紐解いてストーリーをPRしていくのは今まで取り組んでいな



解体予定の滝の茶室

## 信州たかもり温泉と食の魅力

町長

観光の軸としての発信が重要

町長

信州たかもり温泉に限らず、町内の事業者さん

も、希望であれば使える環境を整えていく。

食材を提供する民間の事業者さんや、町内の飲食店の皆さんと話しなが

ら最終的に決めていく。

▽質問

指定管理者には、どのような運営方針や改善を期待しているのか。

町長

全施設の運営管理が、効果的で効果的に行われること。一番求めるのは、ちゃんと自分の事業で収益を確保することや、町の魅力を発信すること。この3つを求める。

産業課長

南信州への広域周遊につながるよう指定管理者、南信州観光公社とも連携して取り組んでいく。

▽質問

温泉を軸とした食の魅力はどう観光に結びつけるのか。

町長

信州たかもり温泉が観光の軸となつて魅力を発信していくことが重要。地元飲食店のメニューが温泉施設で食べられる

産業課長

ようないイベントを組んだり、SNSを活用しながら最終的には、歴史ある食文化が広がるような仕掛けを観光協会で行きたい。

町長

信州たかもり温泉が観光の軸となつて魅力を発信していくことが重要。地元飲食店のメニューが温泉施設で食べられる

産業課長

ようないイベントを組んだり、SNSを活用しながら最終的には、歴史ある食文化が広がるような仕掛けを観光協会で行きたい。



俊 隆 合 河

信州たかもり温泉リニューアルに合わせて、食の魅力について、本町の力にどう変えていくか伺う。

産業課長

観光協会が中心となつて指定管理者がメニュー

食事だけでも行きたくなる施設になるために、町は、地元食材を生かしたメニューの開発をどのように指定管理者と進めていくのか。

町長

観光の軸としての発信が重要

信州たかもり温泉に限らず、町内の事業者さん

も、希望であれば使える環境を整えていく。

食材を提供する民間の事業者さんや、町内の飲食店の皆さんと話しなが

ら最終的に決めていく。

▽質問

指定管理者には、どのような運営方針や改善を期待しているのか。

町長

全施設の運営管理が、効果的で効果的に行われること。一番求めるのは、ちゃんと自分の事業で収益を確保することや、町の魅力を発信すること。この3つを求める。



観光の拠点としての役割が期待される信州たかもり温泉



飯田広域シルバー人材センターとの懇談会 12月4日

シルバー人材センターって何？

「高齢者等の雇用安定等に関する法律」に基づき、国や構成する市町村から支援を受けて運営する公益的・公共的な非営利団体です。

シルバー人材センターに登録すると良いことがあるの？

社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、医療費や介護費用の削減、孤独・孤立の防止などの支援を受けられます。

シルバー人材センターから、要望書の提出があり町長と議長が受け取りました。センターに対する引き続きの補助支援について、町の公共事業における発注拡大などについての要望が出されました。

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供し地域社会の活性化に欠かせない事業を担っています。会員数は年々減少傾向にありますが、その一方で女性会員は増加しています。

積極的に活用することで、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の活躍の場を広げることになります。

働くことを目的としなくても、社会参加や健康増進のために会員になって積極的に活用してみましょう。

(久保田 記)



要望書の提出

議会改革推進特別委員会

町民の皆さんと  
より近く、より開かれた  
議会を目指して

「みんなの模擬議会」開催決定！

令和8年7月末に、町議会の仕組みを体験しながら、地域への関心を高めてもらえるよう「模擬議会」を開催します！町民の方で25歳以上であればどなたでもご参加いただけます。

実際の議場にて、議員さんからの体験ができます。日々の暮らしの中から、よりよい町にするためのアイデアや意見を今後の町づくりに反映させていくチャンスです。

議員が一からサポートするので、ぜひチャレンジしてみたいかたがでしうか？

2月にチラシを回覧する予定ですの、詳細はそちらをご覧ください。



(木下 香 記)

皆さんの声をお聞かせください

議会は町民の声を聞く機会の場合として、町民の皆さんとの懇談会や町内団体の方々との懇談会を開催していきます。

議会との懇談を希望される町内で活動する団体・グループの皆さんを募集しています。

申し込みの詳細は、こちらからご覧いただけます。



「議会基本条例」を見直しました

「町民に開かれた議会の実現」を目指して制定された条例です。新議員も交え、毎年一回の条例の確認と見直しを行いました。

全国学力テスト不参加の選択は

教育長 話し合いの方向性は大事に考える



木村 典雄

子どもたちが勉強する意味や身につける学力と全国学力テストとの関連について質問をする。

質問 NHKで「ひょうたん島」が放映された。ひょうたん島の子どもたちが勉強を拒否する思い、子どもたちに勉強の本当の意味を諭すサンデー先生の思いと町長の思いは同じだと思うか。

教育長 今は参加しないとは思えない。ただ、議論がされた場合には話し合いの方向性は大事に考える。

※原作:井上ひさし

- ◆ひょうたん島の子ども達が「偉くなるため、お金持ちになるため」の勉強を拒否する挿入歌
- ◆サンデー先生が子ども達を「賢い大人になるため、人間らしい人間になるため」と諭す挿入歌

町長は「勉強の意味も教えられず、勉強しろと言われるのが嫌だった。いい点数を取っていい高校へいい大学へ」が勉強する意味ではない。生きる力を学ぶ学校に」語った。町長の考える「生きる力」とは何か。

町長 自分のやりたいことが社会貢献につながる、それが自分自身で誇れることになることだと思う。

質問 全国学力テストは偏差値によって学校を序列化し点数競争を激しくした。教育委員会は全国学力テストの弊害をどう捉えるか。

質問 学校の先生たちが授業準備や、まとめなどをする時間の確保はよい授業になる条件だ。実情はどうか。

教育長 8コマ。必要な目安は2コマとなる。

教育長 現状を改善する方策は。現状を検討中である。それに踏み切った場合は協力いただきたい。

授業の準備時間の確保を

教育長 現在検討中である



下條村のコスモホールにて、飯伊市町村議会議員研修会が開かれました。

## テーマ「自治体DXと議員の心得」

DXとデジタル化の違いについて。DX＝デジタル・トランスフォーメーション、直訳すると「デジタル変革」つまりデジタルを手段として活用して世の中をより良い形に変えていくことです。

地方公務員、地方議員の成り手不足が進行しており、労働力の絶対量が不足していきます。スマート自治体への転換が必要です。

## DXで何が変わるのかー行政と住民の関係ー

1. 「役所に行く行政」 → 「生活に寄り添う行政」へ	DXにより、行政手続きがオンライン化し、 行政が「住民のほうに近づく」形に変化
2. 画一的な行政 → 個別最適化された福祉・子育て支援	データ活用により 「必要な人に必要な支援を届ける」方向へ進化
3. 行政判断の根拠 → データに基づく政策へ	DXにより行政意思決定の透明性が向上
4. 行政主導 → 住民協働・共創のまちづくりへ	DXは自治参加を促進し、 住民が「政策の共創者」に変化
5. 行政＝手続き窓口 → 行政＝地域の課題支援者へ	DXが住民との信頼関係の 再構築に貢献

当町でも自治組織のDX支援の取り組みが進んでおり、「いちのいち」という地域密着型のSNSアプリの導入が検討されています。難しく考える前に使ってみましょう。

## 「いきいき倶楽部」との懇談会 12月2日

新人議員5名と社会福祉協議会「いきいき倶楽部」との懇談会を行いました。

参加者の平均年齢は約90歳で、和やかな雰囲気の中、気さくに意見交換を行うことができました。

主なテーマは

- ・町の公共交通の現状と課題
- ・自治会の運営に関する問題

「10年前と比べて町はいろいろ変わった」といった話題もあがり、時代の変化で便利になった一方で、世代によっては不便を感じることもあるなど、昔の良さや、多くの視点が共有されました。多世代で交流し合うことの大切さを改めて実感できる、貴重な懇談会となりました。

(久保田 記)



今年度は議会としての視察を実施しました。本町と友好都市になっている御前崎市へ行き、公共交通に関する行政視察を行いました。合わせて「大産業まつり」の様子を視察するとともに本町のブースでサンふじなどの町の物産品販売をお手伝いもしました。

## 「A I オンデマンド交通の実証運行」行政視察

御前崎市が今年度10月から「実証運行」としてスタートさせたばかりの「A I オンデマンド交通」の内容や実態を研修・視察しました。



## 御前崎市ってどんなまち

- ◆ 人口：約2万9千人 ◆ カツオのまち（カツオカレーもありました）
- ◆ 温暖な気候と豊かな日照時間を生かした米・メロン・イチゴ・お茶の生産が盛ん
- ◆ 製造業の盛んなまち ⇒ 「御前崎市大産業まつり」はそこから
- ◆ 観光スポット：御前崎灯台（日本の灯台50選）、浜岡砂丘

## OM mobi. 利用ガイド

### AIオンデマンド交通の利用イメージ



御前崎市は公共交通の課題を「移動手段が少ない」「乗り継ぎが不便」「希望する時間帯に移動できない」「運賃収入の減少」とし、その解消に向け「A I オンデマンド交通」の準備をしてきました。電話やスマートフォンで予約するとA I が最適な車両とルートを手配します。同じルートを予約した人と乗り合いで希望場所の近くまで乗車できるというシステムです。

## 御前崎市大産業まつりに参加

リンゴを中心とした物品を販売した本町のブースもあり、各種の産業が集まった「まつり」に参加しました。



「高森町ブース」は開店3時間以上前から列ができました。購入された大勢のお客さんは満足の笑顔でした。



各種の産業がブースを設け、大賑わいの会場でした。マスコットのふうちゃん・なみまるも活躍していました。



## 視察を終えて

公共交通については御前崎市も本町も共通の課題を抱えていると思いました。御前崎市のシステムは本町とはまた異なった「乗り合いタクシー」なので大変勉強になりました。「まつり」は地元の皆さんが趣向を凝らした出店をし「手づくりのまつり」の雰囲気が参考になりました。

(木村 記)



## No.165に寄せられたモニターの皆さんの声

前号について7名のモニターの皆さんからいただいたご意見の一部を紹介します。

全項目は町  
ホームページに  
掲載しています



### 「モニターの声・追跡・議長挨拶」について

- ・モニターの声・追跡ともにすっきりとしていてパッと見て読みやすい。  
議長挨拶の部分は上下で分けるなら繋げて長い文章で表示した方が見やすいと思います。
- ・モニターの声が掲載されていて、私たちの活動を見てもらえることはとてもいいと思います。

### 「議会新体制スタート・表紙の解説など」について

- ・写真付きで載っていて非常に良いと思う、それぞれの議員さんのことが知りやすい。
- ・表紙の解説で、橋が今までどの様だったのか、今はどのような橋になったのかわかりやすかったです。議会新体制スタートは、議員の皆さんの顔、名前、好きなことなどわかりやすく書かれていて良かったです。

### 「9月定例会令和6年度決算・7月臨時会」について

- ・議会ではどのような事を行っているのか分かりやすく写真やイラストもあるので読みやすいです。
- ・議長がくじ引きで決まったのは正直びっくりしました。イラスト、写真が使われていて、わかりやすいと思います。

### 「お気づきの点」について

- ・町内のスーパー入口のラックにも見かけますので以前よりも表紙が明るく見やすい印象ですので年齢問わず興味持って頂いてと思います。

## 議会だよりモニターを募集しています！

◆募集期限 令和8年2月27日（金）必着

◆募集人数 3人以内

◆任 期 令和8年4月1日から2年間

◆募集資格 次の1から3すべてに該当する方が対象となります。

1. 高森町内に居住し、満18歳以上の方
2. 議会広報に深い関心を持っている方
3. 高森町職員でない方

### ◆活動内容

年4回発行している議会広報誌「議会だより たかもり」を読んでいただき、所定の用紙に意見・感想・改善点などを記入して提出いただきます。  
年に1回、編集委員との意見交換会への出席をお願いします。

### ◆応募方法・問い合わせ先

2月27日（金）までに、応募用紙（議会事務局にて入手または高森町ホームページよりダウンロード）に必要事項をご記入の上、直接または郵送、ファックス、メールにて議会事務局までご提出ください。



（和地 記）

連絡先についてはP20下段をご覧ください。

追跡!!

あれは今

どうなってるの？

1年程前の一般質問でとりあげられた事柄の中で「検討したい」との答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応や、現在の状況を報告します。

### 質問

アシスト自転車を備えてそれを貸し出し、自転車走行帯を設置するなどのサイクリングターミナルとしての機能アップは。 【令和6年12月定例会】

### 答弁

道路にペイントをして、アシスト自転車レーンの設置なども検討する。

【産業課長】



### その後

令和7年度の予算において、町の「観光ビジョン」をまとめ、その中で観光振興の今後の在り方や方向性を明確にしていく予定です。上段道路の沿線の自然や景観は当町の自慢できるポイントのひとつです。温泉改修後には、信州たかもり温泉を起点としてランニングやウォーキングに適した上段道路をアピールし、温泉への誘客に活用することも考えられます。更なる魅力づくりのひとつとして、自転車専用レーンの設置につきましては、引き続き研究していきます。



現在のハーモニックロード

（佐々木 記）

追跡!!

の追跡!?



追跡を一度して終わりではない、追跡をさらに追跡していくコーナーです。  
議会だより158号P9の一般質問(空き家等対策の推進を)について163号で追跡をしています。  
しかし、空き家の問題は年々拡大しています。

### 空き家など対策の推進について

令和6年から令和7年の空き家対策の現状は？町では実際にどのように動いているの？



項目と年度	令和6年	令和7年
空き家※	199件	204件
第三者に危険が およぶ空き家	18件	17件
空き家バンクの 登録件数	3件	4件

※空き家とは、長期間(1年以上)使用の実績がない建物



倒壊の危険性があり倒壊した場合に不特定多数の第三者に危険が及ぶと思われる建物については、飯伊建築士会に依頼して外観調査を実施し、状態を客観的に判断できる数字やコメントを記載した調査結果を特定できた所有者に郵送している。また、活用が見込まれる空き家の所有者が把握できれば、空き家バンクへの登録や、希望者へのつなぎなども積極的に行っている。

（久保田 記）





## これから来る新しい高森町

出 原 <sup>なかだいら</sup> 仲平 <sup>まこと</sup> 誠さん

高森町に山吹駅、市田駅が開通して102年、中央自動車道が全線開通して43年、約50年に一度

町に来ると思います。大勢の人たちがこの高森

なにか少しでも新しい事をして、これから来る高森の手助けが出来れば嬉しいですね。

私たちの住む高森町には山吹にサッカー場ができて、今後信州たかもり温泉・豊丘村と結ぶ竜神大橋が架かり2028年に開催される国民スポーツ大会の競技会場となるMIZBEステーションに大勢の人たちがこの高森町に来ると思います。

## みんなの声

## 子どもの感性

下市田 <sup>ふくざわ</sup> 福澤さゆりさん



秋、わけあって俳句や川柳を作る機会がありました。遊びのようなもので、軽い気持ちで小学生の子どもたちに「なにか作らない？」と声をかけてみたところ、反応は様々でしたが、最終的に全員が作品を作ってくれました。

上の学年の子どもは授業でやったことがあるようです。私からは「思ったことを5・7・5の文字数にすればいいだけだか」

## 表紙の解説

### 議会 ホット情報便の お知らせ

放送日：毎月第3  
土曜日～1週間  
7：00 9：00  
13：00 17：00  
19：00

2月以降の担当者は  
次の議員です。

2月 本島 未来  
3月 齋藤 天  
4月 河合 隆俊

今回の定例会では、上下水道料金に関する条例の一部改正が行われました。

将来にわたり持続可能なインフラ整備と上下水道事業の安定した健全経営のため、料金改定が必要であるとの説明が町からありました。

写真は、令和元年度に築造された「鬼の手配水池」です。耐震性能もあり災害時の給水拠点として重要な役割を担っています。瑠璃寺と鬼の手公園を結ぶ道路沿いにありますので、機会がありましたら皆さんも足を止めてみてください。

(佐々木 記)



南アルプスと青空がきれい

## 編集 後記



今回の議会だよりは来年度予算編成に向けた議会提言や、指定管理者の指定では各議員の討論、臨時会の内容を掲載しています。

御前崎市への視察はわかりやすいように写真を多く入れました。

議員研修会では、これからの生活を支える「デジタル改革」について報告しています。

また来年度「議会だよりモニター」の募集を載せてあります。多くの方のご参加をお待ちしております。今後も議会活動にご理解ご協力をお願いします。

(佐々木 記)

あなたも議会を  
傍聴してみませんか？  
次回の定例会は

3月です。

場所 役場3階議場  
詳しくは議会事務局へ  
☎35-9404

古紙再生紙使用

～議会だよりをお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい～

発行／長野県高森町議会 責任者／木下啓爾 編集／議会だより編集特別委員会  
〒399-3193 下伊那郡高森町下市田2183番地1 TEL0265-35-9404 FAX0265-35-8294

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。